

オフショア開発向けUML適用ガイドライン Ver2.0での改訂内容

June 25, 2008

UMTP オフショアソフトウェア開発部会

改訂にあたってのガイドラインの基本的な考え方

下記の方針で改訂を行なった。

- 開発方法論・プロセスはガイドラインの範囲外
 - 方法論・プロセスに関する意見・質問がみられたが、これらについては各社で準備・使用しているという前提で、ガイドラインを付加的に使用することにより、オフショア開発の効率向上を目的として改訂した。
- モデリング関係 vs. オフショア開発一般のノウハウ
 - モデリングとも関係が深い基本的なオフショア開発のノウハウは取り上げるが、一般的なオフショア開発のノウハウ集にならないように留意した。

主な変更のポイント(V 1.0 → V2.0)

- オフショア側プロジェクトの視点で見直し
 - 中国側アンケートやヒアリングをINPUTした。(アンケート結果の一部掲載)
 - V1.0は日本側の視点で作成したが、見直した結果、大きな変更は不要であった。分かり難い表現の修正・補足を行なった。
- 記載内容の見直し(補足, 修正, 改善)
 - ガイドラインの位置付けについての記載を補足した。
 - オプション扱いのポイントを明示した。
 - 前提とするモデリングスキルレベルの記述を追加した。
 - 日本におけるシステム開発の特徴の記述を追加した。
 - その他、見栄え等の細かな修正をした。
- ノウハウのポイントの整理・統合
 - レビュー関係のポイントを整理・統合した。
- ノウハウのポイントを追加
 - 先進事例としてのインドのヒアリングをINPUTした。
 - 既存ポイント自体は、的外れではないことを確認。補足的に追加した。



目次構成

オフショア開発向けUML適用ガイドライン Ver. 1.0

1. 目的
2. オフショア開発における現状の問題点と対策
3. UMLの特徴
4. UMLの適用範囲と、開発のノウハウ(Hints & Tips)
図4-1, 表4-1/4-2
Point 1~21
付録. 成果物サンプル

オフショア開発向けUML適用ガイドライン Ver. 2.0

1. 目的
2. オフショア開発における現状の問題点と対策
3. UMLモデリング
 - 3-1. UMLの特徴
 - 3-2. 前提とするUMLモデリングスキルレベル
4. UMLの適用範囲と、開発のノウハウ(Hints & Tips)
図4-1, 表4-1/4-2
Point一覧(表4-3)
Point 1~22
補足
付録. 成果物サンプル

補足説明追加

中国側アンケート追加

中国側の視点も踏まえて内容の見直し



UMLの適用範囲と開発のKnow-how (Hints & Tips) V1.0

1. 作業範囲／作業分担の明確化

2. 利用するUML図の確定

3. 必ずUMLである必要はない

4. 上流工程への参画

5. 非機能要件定義

6. 分析モデルで業務を理解

7. 用語辞書を作成する

8. 命名規約を作成する

9. モデルの作成規約を作成する

10. 共通機能の明確化

11. アーキテクチャ・モデル

12. アーキテクチャ説明成果物の作成

13. 仕様書の記述レベル、書式の指定

14. 詳細設計ガイドライン作成

15. 仕様未決定部分は明確に

16. オフショア側でのレビュー実施

17. チェックを繰り返し行なう

18. UML図間の整合性

19. 詳細設計のレビュー

20. 工程単位のレビューは確実に

21. 実装はツールのコード生成機能を使用する



UMLの適用範囲と開発のKnow-how (Hints & Tips) V2.0

前提 前提とするUMLモデリングスキルレベル

1. 作業範囲／作業分担の明確化

2. 利用するUML図の確定

3. 必ずUMLである必要はない

Option

4. 上流工程への参画

5. 非機能要件定義

6. 分析モデルで業務を理解

7. 用語辞書を作成する

8. 命名規約を作成する

9. モデルの作成規約を作成する

10. 共通機能の明確化

11. アーキテクチャ・モデル

12. アーキテクチャ説明成果物の作成

3章に追加

13. パターンの活用

新規追加

14. 仕様書の記述レベル、書式の指定

15. 詳細設計ガイドライン作成

16. 仕様未決定部分は明確に

17. オフショア側での成果物のレビュー実施

18. 日本側はチェックを繰り返し行なう

19. Validation と Verification

新規追加

20. モデルで詳細設計のレビュー

21. UML図間の整合性

Option

22. 実装はツールのコード生成機能を使用する

Review関係のPointを整理統合

4章に追加

補足. 日本におけるシステム開発の特徴
(設計編・テスト編)

